

観光を通じた持続可能な地域づくりについて

～観光業部会（星野佳人部会長）～
9月26日（参加者20名）

十日町市でインバウンド向け観光業を営む㈱HOME away from HOME Niigataの代表取締役 井比 晃氏を講師に迎え、講演会を開催しました。井比氏は『「人生を変えるような出会い」をコンセプトに、ゲストとホスト(地域)が生き方や価値観を共有する場の提供を心掛けている。数時間だけのアクティビティだけでなく、棚田トレックなどの着地型体験など、数日間滞在する質の高い体験コンテンツを提供することで地域内の消費金額を増やし、経済的好循環を生み出したい』と説明しました。



東京・横浜の先進企業を視察

～情報・サービス業部会（野沢慎吾部会長）～
9月26日、27日（参加者15名）

カップヌードルミュージアム横浜とソフトバンク本社等の視察見学会を実施しました。カップヌードルミュージアムでは、食文化を改革した「カップヌードル」の誕生までの軌跡や創業者安藤百福氏の商品開発における創造的思考について、ソフトバンク本社では、社内の各種問合せ窓口や社員食堂を見学するとともに、同社の「働き方改革」の取組について説明を受けました。当企業の担当者は「反発は必ずある。一番大切なことは、とにかくやってみること」と結びました。



外国人材雇用のポイントを解説

～教育福祉医療部会（渡邊 毅部会長）～
9月27日（参加者16名）

行政書士法人みなみ法務事務所 代表社員 南 直人氏を迎え、「外国人材雇用のポイント」と題し、講演会を開催しました。

南氏は、新潟県内における外国人雇用の現状や、本年4月より新設された「特定技能」等の各在留資格制度、外国人材を受け入れるにあたっての注意点を中心に説明。「外国人材採用において、企業は適切な外国人材雇用計画の立案、コンプライアンスの徹底、その他、生活支援や研修等、外国人材への理解が必要である」と述べました。



クルーズ船入港による地域活性化と今後の取組

～輸送業部会（高橋哲哉部会長）～
9月30日（参加者18名）

新潟市観光・国際交流部 次長 関川丈彦氏を講師に講演会を開催しました。

関川氏は、コスタ・ビクトリアやセレブリティミレニアムなど新潟港に寄港した大型クルーズ船の経済効果は、推計約1,700万円と説明しました。今後さらにクルーズ船の寄港数を増加させるために、市民による歓迎ムードなど地域全体での受入姿勢の盛り上がりと各個店・施設の対応として早めの開店や多言語対応、電子決済の導入などが重要であると強調しました。



事業承継の実体験を聞く

～商業部会（和田晋弥部会長）～
10月2日（参加者19名）

㈱にいがた事業承継サポート室 取締役 土田克則氏を講師に迎え、27歳で家業を継いでから46歳で事業譲渡するまでの実体験を踏まえた事業承継のポイントについて講演を行いました。留意すべき点は、①人の承継…業界の将来性、自社のビジネスモデルを考え、適切な後継者を決定する。②資産の承継…自社株の価値を把握し、事業用資産は後継者、後継会社に集中させる。③親族に承継する場合は、業界、自社の強み・弱み、従業員の個性を十分理解させる。従業員に承継する場合は、従業員とオーナー経営者では考え方が違う事を理解する。第三者に承継する場合は、従業員が退職しないよう、取引先が離れないよう努力する。などのポイントを挙げ、講師自身の経験談を交えながら解説しました。

グローバル・ニッチトップ企業が示す未来

～工業部会（渋井信之部会長）～
10月2日（参加者19名）

新潟県立大学 教授 細谷祐二氏を迎えて「地域の力を引き出す企業～グローバル・ニッチトップ企業が示す未来～」と題し、講演会を開催しました。

細谷氏は、「グローバル・ニッチトップ企業とは、ニッチ市場で、高いシェアを有するニッチトップ型企业の中で、競争力で特に優れた国際市場でも活躍する企業である。2番ではなく必ずトップでないといけない。自社の製造の強みを活かした他社では、まねできないものを作っている」と強調しました。



想定外の事態から人と会社を守る防災・危機管理対策

～建設・不動産業部会（本間達郎部会長）～
10月2日（参加者21名）

日本マネジメント総合研究所合同会社 理事長 戸村 智憲氏を講師に講演会を開催しました。

戸村氏は、「BCPは事業を止めないためのもの」という思い込みがあるが、「命の危険がないこと」が大前提であるとし、ダメージを最小限にしつつ復旧を早くするポイントを説明しました。

また、不可抗力による「天災」か、経営者の手抜き・怠慢による「人災」かを分けるポイントは、善管注意義務を果たしているかどうかであり、「身の丈に合った最大限の義務を果たした」と言えるようにしておく必要があると強調しました。



広告は今が一番面白い時代にある！

～情報・サービス業部会（野沢慎吾部会長）～
10月3日（参加者80名）

電通クリエイティブ・ディレクター 佐藤雄介氏を講師に「広告クリエイティブの今」と題したセミナーを開催しました。佐藤氏は、プロデュースした数々のCMの映像を交えながら、広告制作のための発想法や着眼点などについて解説し、「今の時代はどうすれば良いのか解らない、言い換えれば『何でも自由にできる』。テレビCMとWebCMなどアウトプットの形も様々であり、組み合わせると、広告にしかできないことができる。広告は今、一番面白い時代にある」と述べました。



新潟県内商工会議所 女性会合同研修会を開催

～女性会（田中久美子会長）～
10月2日（参加者92名）

新潟商工会議所女性会が幹事となり、「若手後継者等育成事業」として県内7女性会（加茂・新津・新発田・五泉・小千谷・長岡・新潟）による合同研修会を開催しました。

当日は、石川県羽咋市役所勤務時代に限界集落神子原のお米をローマ法王に食べさせることでお米の価値を上げることに成功した、高野誠鮮氏を講師に迎え、「スーパー公務員と言われた男の失敗履歴」と題して講演会を行いました。高野氏は、市役所勤務時代の経験を例に挙げながら、課題を解決するときの思考方法として「できない理由を挙げないこと。成功したときのイメージを念頭に置くこと」「成功するまで失敗をすればいい。何度でも起き上がり、進みながら直していくことで自然とバランス感覚が身につき失敗しなくなる」と熱く語りました。

講演会終了後は交流パーティーを開催し、和太鼓や古町芸妓連の踊り、フラメンコ舞踊を楽しみながら親睦を深めました。



燕三条のKOUBAを視察見学

～金融業部会（並木富士雄部会長）～
10月4日（参加者9名）

燕三条の「工場の祭典」の視察見学会を開催し、(株)マルト長谷川工作所、火造りのうちやまを訪問しました。

(株)マルト長谷川工作所では、10月1日にオープンしたショールームのMaruto Paddock(マルト・パドック)と、「一貫生産」が特徴の本社工場を見学しました。

火造りのうちやまでは、和釘製作の実演を見学しながら和釘の歴史や種類、用途などについての説明を受けました。

参加者は、燕三条地域のものづくりの歴史や技術について、実際に肌で感じながら関心を深めました。



熊本の新ランドマーク 「サクラマチ クマモト」を視察

～商業部会（和田晋弥部会長）～
10月16～17日（参加者14名）

熊本市の大型複合施設「サクラマチ クマモト」、下通商店街等の視察を実施しました。サクラマチ クマモトは商業施設、バスターミナル、熊本城ホール、ホテルや住宅が併設され、人、モノ、情報の交流拠点となる新たなランドマークとして賑わいを見せていました。下通商店街は、県内最大のアーケード街で、商工会議所や行政、近隣商店街などと連携した事業を展開し、商店街振興に取り組んでいる様子を視察しました。

